

らい病の人が治りたかった理由

聖書にはらい病と呼ばれる病気のことが何度も出てきます。(列王第二 5:1。ルカ 5:12-14) どんな病気でしたか。この病気にかかった人たちが何とかして良くなりたかったと思っただけですか。

家族で、この病気について調べてみましょう。「聖書に対する洞察」(いくつかの言語では、jw.orgの出版物 > オンライン・ライブラリーでも読めます)などの出版物を用いることができます。

らい病の治ったイスラエル人は、普通の生活に戻る前に、ある儀式を行わなければなりません。レビ記 14章2, 4, 8, 10, 20節を読み、下の絵で、病気が治った人と祭司が行なった儀式の順に番号を振りましょう。



▶ やってみよう: ルカ 5章12-15節を読んで、イエスがらい病の人に対してどんな行動を取ったか見てみましょう。次に、知り合いの中で重い病気にかかっている人の名前を書き出します。そして、どのようにイエスに見合わせるか、どんな親切を示せるか、話し合しましょう。

答え: 1. らい病の治った人が祭司のところに連れて来られる。
2. その人は鳥を2羽持って行く。 3. 自分の衣を洗う。
4. 雄羊2頭と子羊1頭を持って行く。 5. 祭司は捧げ物をささげる。